環境に配慮したシカ侵入防止柵の開発

【研究概要】

都内において、植栽木をシカの被害から守るために設置されたシカ侵入防止柵の多くは、自然に還らないプラスチックなどの素材が使われており、撤去する際、地下部に埋まった支柱やネットの除去が極めて困難なため、林地に残置される問題がある。この解決に向けて、自然に還る環境に配慮した素材の柵を開発することを目的に試験を実施した。

（１）東京都農総研が考案した線径1.2mm、幅1400mmの亜鉛メッキの亀甲金網の追加について、あきる野市の再造林地で実証試験を行ったところ効果が認められ、普及が可能である。

（２）多摩地域の野生動物の生息状況と急峻な地形などの立地環境を鑑み、どのような種類の柵を選択するのが最適なのかを示した設置指針を作成した。これにより、誰にでも簡単に最適な柵の種類を選択することができる。